Canon

Digital Photo Professional 使用説明書 Macintosh

（デジタル フォト プロフェッショナル）

表紙／目次

Canon Utilities

- Digital Photo Professional Ver. 2.0

RAW 画像対応機種

- EOS-1D Mark II N
- EOS-1Ds Mark II
- EOS-1D Mark II
- EOS-1Ds
- EOS-1D
- EOS 5D
- EOS Kiss Digital N
- EOS 20D
- EOS Kiss Digital
- EOS 10D
- EOS D60
- EOS D30
- PowerShot Pro1

目 次

はじめに
メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする 1
編集画面で詳細な画像編集をする 2
セレクト編集画面で詳細な画像編集をする 3
クイックチェック画面で画像を表示する 4
資 5 料
索　引

CT1-7133DPPMJ-000

はじめに

この章では、Digital Photo Professional をお使いいただく前に知っておいていただきたい注意事項や、本使用説明書の操作方法、動作環境、対応画像の説明のほか、より快適にご使用いただくための、機能説明や画面構成、操作例などを記載しています。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。
本書には製品をより安全にご使用いただくための注意事項や、操作の手助けとなるマークなどが本書の冒頭に記載されています。これらの内容をご一読いただいてから、各章の内容をお読みになり、正しくご使用ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告無く変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のサービス窓口までご連絡ください。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

同梱の CD-ROM を CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用 CD プレイヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

登録商標について

- Canon および EOS は、キヤノン株式会社の商標です。
- iBook および iMac、QuickTime は、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Macintosh および PowerBook、Power Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本使用説明書上のおことわり

- 本書では、Mac OS X 10.3 を使用したときの画面を例に説明しています。
- 本文中の［ ］内の語句は、パソコンの画面上に表示される画面名称、メニュー名称、ボタン名称などを示しています。
- 本文中の〈 〉内の語句は、キーボードやカメラのボタン名称を示しています。
- 本文中の（p.*-*）の * は、参照ページを示しています。
- 本文中の ▶ は、次のような操作の流れを示しています。
  例：［表示］メニュー ▶［整列］▶［ファイル名］

- 本文中の以下のマークのついた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。
  - ：ソフトウェアやパソコンの操作に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。
  - ：基本操作に加えて、知っておいていただきたい事項が書かれています。
- 使用説明書の右側に記載された章目次のボタンを押すと、各章の章扉ページが表示されます。
- 使用説明書右下のボタンを押すと、次のようにページが移動します。
  - ：前のページを表示します。
  - ：次のページを表示します。
  - ：一つ前に表示していたページに戻ります。

主な機能

本ソフトウェアは、RAW 画像撮影が主体のプロ・ハイアマのユーザーニーズに応える、次のような特徴や機能を備えたキヤノン製デジタルカメラ専用の RAW 画像編集ソフトウェアです。

RAW 画像の高速現像

- キヤノン独自の高性能アルゴリズムにより、RAW 画像の高速現像処理と高速表示を実現しています。
- キヤノン純正ソフトウェアならではの高画質な現像処理を行うことができます。

プロのワークフローに応える操作性と各種の画面

- プロのワークフローに対応した軽快な動作と、各種の機能画面を装備しています。
- メイン画面では、画像の一覧表示（サムネイル画像表示）、画像の選別と並べ替え、簡単な画像編集を行うことができます。
- セレクト編集画面では、複数画像から 1 枚の画像を選んで、拡大表示による画像確認と詳細な画像編集を行うことができます。
- 編集画面では、1 枚の画像を拡大表示して、画像確認と詳細な画像編集を行うことができます。
- クイックチェック画面では、画像を 1 枚ずつ順番に切り換えて表示し、画像確認と選別を行うことができます。

リアルタイム画像調整

- 調整結果がリアルタイムで画像に反映される各種の画像調整機能を搭載しています。
- すべての画像調整機能は、16bit で高精度に調整することができます。
- カメラの調整項目よりも豊富で自由度のある RAW 画像調整機能や、RAW 画像、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）の編集が可能な RGB 画像調整機能により、各種の画像編集を行うことができます。また、RAW 画像調整機能で編集した RAW 画像は、画質がほとんど劣化しません。
- RAW 画像の調整項目：明るさ調整、ホワイトバランス調整、ピクチャースタイル設定
- RAW 画像、RGB 画像（JPEG 画像、TIFF 画像）の調整項目：
  トーンカーブ調整、色調整、シャープネス、切り抜き（トリミング）、画像修正（リペア、コピースタンプ）、画像の回転（左右 90 度単位）
- レシピデータ（編集した画像の各種調整結果）を保存／読み込み／他の画像へ適用することができます。
- 編集前後比較表示機能により、調整前、調整後の画像を同一画面上に表示して、比較しながら調整することができます。

多彩な各種機能

- 3 種類のチェックマークにより、画像の選別や整理を行うことができます。
- Photoshop への 1 枚転送や、任意の画像編集用ソフトウェアへ複数の画像を一括して転送することができます。
- RAW 画像を含む対応画像を 1 枚印刷することができます。
- Easy-PhotoPrint ＋キヤノン製 BJ プリンターとの連携により、RAW 画像を含む対応画像を簡単かつ高品位に印刷することができます。
- RAW 画像を TIFF 画像、JPEG 画像へ変換／保存し、ICC プロファイルを付加することができます。
- 複数の RAW 画像を一括して変換／保存することができます。（バッチ処理機能）
- ファイル名を一括して変換することができます。（リネーム機能）
- EOS Capture と連携したリモート撮影に対応しています。

カラーマネージメント

- カラーマネージメントシステムに対応しています。
- 5 種類の色空間（sRGB、Adobe RGB、Wide Gamut RGB、Apple RGB、ColorMatch RGB）に対応しています。
- 保存画像に ICC プロファイルを付加することができます。
- モニターやプリンターのプロファイルを設定することができます。
- CMYK シミュレーション機能により、印刷機等の CMYK 環境で印刷したときの色味をシミュレーションすることができます。

動作環境

OS（オーエス）	Mac OS X 10.2 ～ 10.4
機　種	上記の日本語版 OS がインストールされている Macintosh
CPU（シーピーユー）	G3 400MHz 以上
RAM（ラム）	512MB 以上
ハードディスク空き容量	256MB 以上
ディスプレイ	解像度：1024 × 768 以上 カラー：約 32,000 カラー以上

- UFS（UNIX File System）フォーマットされたディスクには対応していません。

対応画像

本ソフトウェアが対応しているのは、以下の画像です。

画像の種類／撮影したカメラ		拡張子
RAW 画像	EOS-1D Mark II N、EOS-1Ds Mark II、EOS-1D Mark II、EOS 5D、EOS Kiss Digital N、EOS 20D	.CR2
	EOS-1Ds、EOS-1D	.TIF
	EOS Kiss Digital、EOS 10D、EOS D60、EOS D30、PowerShot Pro1*	.CRW
JPEG 画像	Exif 2.2、2.21 に準拠した JPEG 画像、JFIF 画像	.JPG ／ .JPEG
TIFF 画像	Exif 規格に準拠した TIFF 画像	.TIF ／ .TIFF

* Digital Photo Professional の RAW 画像編集機能では編集できません。

各機能画面の構成

本ソフトウェアは、起動したときに表示されるメイン画面を中心に、本ページの各種画面／機能画面で構成されています。

メイン画面

- 画像の一覧表示と簡単な画像編集を行うことができます。（p.1-2）
- 画像の大きさや表示方法を変更したり、条件別に並べ替えることができます。（p.1-5）
- 3 種類のチェックマークを設定して、画像の分類／整理を行うことができます。（p.1-2）
- RAW 画像のホワイトバランス調整、明るさ調整、色空間設定を行うことができます。（p.1-6 ～ p.1-9）
- RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像の画像回転、明るさ調整を行うことができます。（p.1-2、p.1-9）
- RAW 画像を JPEG 画像や TIFF 画像に変換したり、編集した画像を別画像として保存することができます。*（p.1-15）
- 画像（RAW 画像を含む）を印刷することができます。*（p.1-19）
- Digital Photo Professional の各種設定を行うことができます。*（p.1-20）

* 編集画面、セレクト編集画面でも行うことができます。

ダブルクリック

編集画面

- メイン画面で選んだ 1 枚の画像を個別画面に拡大して表示します。また、複数の編集画面を表示して、最大 36 枚までの画像を比較しながら編集することもできます。（p.2-2）
- 画像の大きさや表示方法を変更したり、編集前後の比較表示をすることができます。（p.2-3）
- RAW 画像の明るさ調整、ホワイトバランス調整、ピクチャースタイル設定を行うことができます。（p.2-3 ～ p.2-6）
- RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像のトーンカーブ調整、色調整を行うことができます。（p.2-6～p.2-8）

切り換え

ツールメニュー

クイックチェック画面

- メイン画面で選んだ画像を個別画面に表示し、高速に閲覧することができます。（p.4-1）
- 3 種類のチェックマークを設定して、画像の分類／整理を行うことができます。（p.4-1）

セレクト編集画面

- 複数の画像から 1 枚の画像を選んで、詳細な編集を行うことができます。（p.3-1）
- 画像の大きさや表示方法を変更したり、編集前後の比較表示をすることができます。（p.2-3）
- RAW 画像の明るさ調整、ホワイトバランス調整、ピクチャースタイル設定を行うことができます。（p.2-3 ～ p.2-6）
- RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像のトーンカーブ調整、色調整を行うことができます。（p.2-6 ～ p.2-8）

ボタンまたは各メニュー

リネーム画面

- 画像のファイル名を一括して変更することができます。（p.1-17）

ツールメニュー

ツールメニュー

画像の一括変換／保存（バッチ処理）画面

- 複数のRAW画像を一括して JPEG や TIFF 画像に変換／保存したり、編集した複数の画像を別画像として一括保存することができます。（p.1-16）

EOS Capture からの画像取り込み

- EOS Capture と連携して、リモート撮影した画像を表示することができます。（p.1-19）

画像編集用ソフトウェアへの画像転送

- 複数の画像を任意の画像編集用ソフトウェアに転送することができます。（p.1-18）

Easy-PhotoPrint での印刷

- Easy-PhotoPrint と連携して、キヤノン製 BJ プリンターで印刷することができます。（p.1-19）

Adobe Photoshop への画像転送

- 1 枚の画像を Adobe Photoshop に転送することができます。（p.1-18）

トリミング画面

- 画像を任意の範囲で切り抜くこと（トリミング）ができます。（p.1-10）

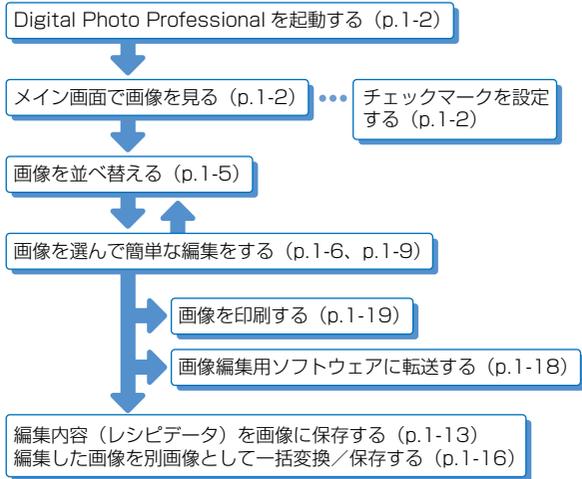
コピースタンプ画面

- 画像上の不要な点を周囲の色に合うよう修正することができます。（p.1-11）
- 画像上の不要な個所に、同じ画像の他の部分からコピーした画像をペーストして修正することができます。（p.1-12）

操作例

Digital Photo Professional の代表的な操作方法を紹介します。

例 1：メイン画面で画像の一覧表示と簡単な編集をする

- Digital Photo Professional を起動する（p.1-2）
- メイン画面で画像を見る（p.1-2） ••• チェックマークを設定する（p.1-2）
- 画像を並べ替える（p.1-5）
- 画像を選んで簡単な編集をする（p.1-6、p.1-9）
  - 画像を印刷する（p.1-19）
  - 画像編集用ソフトウェアに転送する（p.1-18）
- 編集内容（レシピデータ）を画像に保存する（p.1-13）
編集した画像を別画像として一括変換／保存する（p.1-16）

例 2：セレクト編集画面で複数の画像から 1 枚を選んで詳細な編集をする

- Digital Photo Professional を起動する（p.1-2）
- メイン画面で複数の画像を選ぶ（p.1-2）
- セレクト編集画面に切り換える（p.3-1）
- 複数の画像から 1 枚の画像を選ぶ（p.3-1）
- 画像を編集する（p.2-3、p.2-6） ••• 編集前後の画像を比較して表示する（p.2-3）
  - 画像を印刷する（p.1-19）
  - 画像編集用ソフトウェアに転送する（p.1-18）
- 編集内容（レシピデータ）を画像に保存する（p.1-13）
編集した画像を別画像として一括変換／保存する（p.1-16）

例 3：編集画面で 1 枚の画像に詳細な編集をする

- Digital Photo Professional を起動する（p.1-2）
- メイン画面で画像を選ぶ（p.1-2）
- 編集画面に選んだ画像を表示する（p.2-2）
- 画像を編集する（p.2-3、p.2-6） ••• 編集前後の画像を比較して表示する（p.2-3）
  - 画像を印刷する（p.1-19）
  - Photoshop に転送する（p.1-18）
- 編集内容（レシピデータ）を画像に保存する（p.1-13）
編集した画像を別画像に変換／保存する（p.1-15）

例 4：クイックチェック画面で画像を確認する

- Digital Photo Professional を起動する（p.1-2）
- メイン画面で複数の画像を選ぶ（p.1-2）
- クイックチェック画面に画像を表示する（p.4-1）
- 画像を確認する ••• 画像にチェックマークを付ける（p.4-1）

例 5：編集した画像の編集内容（レシピデータ）を他の画像に反映する

- Digital Photo Professional を起動する（p.1-2）
- メイン画面で編集した画像を選ぶ（p.1-2）
- 編集内容（レシピデータ）をコピーする（p.1-13）
- メイン画面で編集内容を反映する画像を選ぶ
- 選んだ画像に編集内容を反映する（p.1-13）

例 6：EOS Capture と連携したリモート撮影

- カメラとパソコンを接続して、カメラの電源スイッチを入れる
- Digital Photo Professional を起動する（p.1-2）
- メイン画面またはセレクト編集画面に切り換える（p.1-2、p.3-1）
- EOS Capture を起動する（p.1-19）
- EOS Capture の撮影ボタンまたは、カメラのシャッターボタンを押して撮影する
- メイン画面またはセレクト編集画面に表示された撮影画像を確認する

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を表示する

資　料

索　引

1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

この章では、メイン画面の各機能や画像の表示方法、簡単な画像編集について説明します。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

Digital Photo Professional を起動する

Dock に登録された［Digital Photo Professional］アイコンをクリックする

→ メイン画面が表示されます。

● ［Canon Utilities］フォルダ ▶［Digital Photo Professional］フォルダ ▶［Digital Photo Professional］アイコンの順にダブルクリックして起動することもできます。

メイン画面

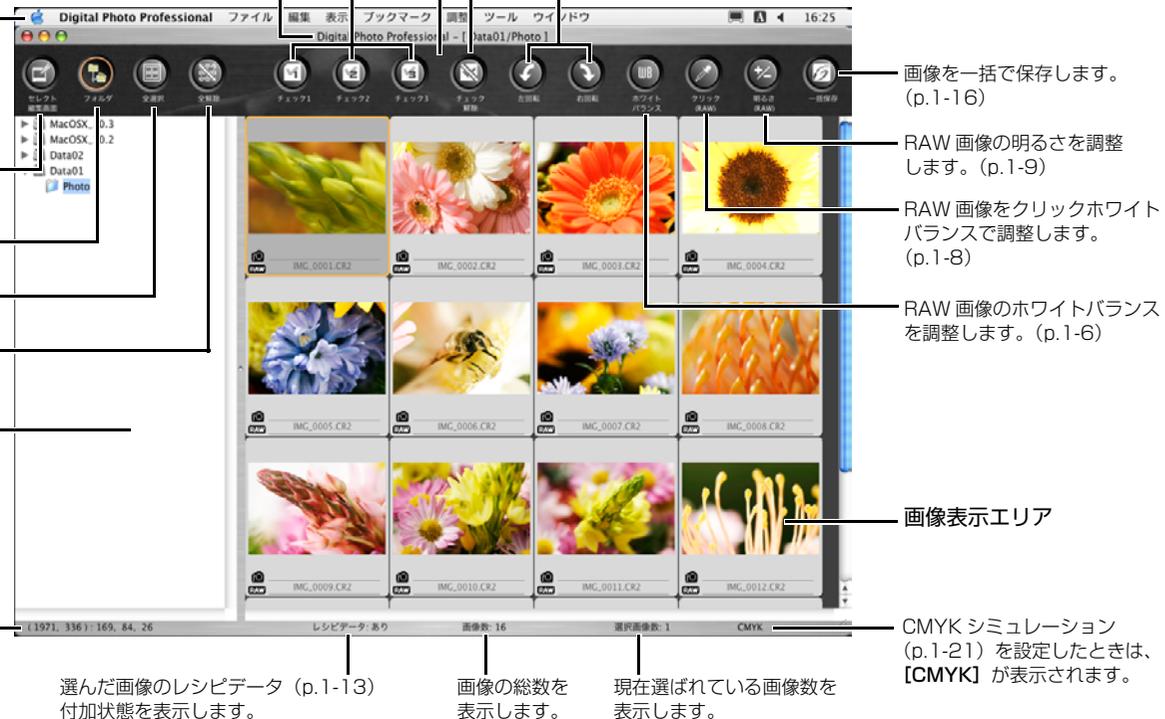
ツールバー

選んだ画像に 3 種類のチェックマークから 1 つを選んで設定します。

選んだ画像のチェックマークをすべて解除します。

フォルダエリアで選んだフォルダのパスが表示されます。

選んだ画像を左右に 90 度回転します。

メニューバー
［Digital Photo Professional］、［ファイル］、［編集］、［表示］、［ブックマーク］、［調整］、［ツール］、［ウインドウ］メニューを表示します。

画像を一括で保存します。（p.1-16）

RAW 画像の明るさを調整します。（p.1-9）

メイン画面がセレクト編集画面に切り換わります。（p.1-6、p.3-1）

RAW 画像をクリックホワイトバランスで調整します。（p.1-8）

フォルダエリアを表示／非表示にします。

画像表示エリア内のすべての画像を選びます。

RAW 画像のホワイトバランスを調整します。（p.1-6）

画像表示エリア内の選択画像がすべて解除されます。

フォルダエリア
選んだフォルダ内の画像が、画像表示エリアに表示されます。

画像表示エリア

クリックホワイトバランス（p.1-8）の操作中は、カーソルの座標位置と RGB 値（8bit 換算）を表示します。

CMYK シミュレーション（p.1-21）を設定したときは、［CMYK］が表示されます。

選んだ画像のレシピデータ（p.1-13）付加状態を表示します。

画像の総数を表示します。

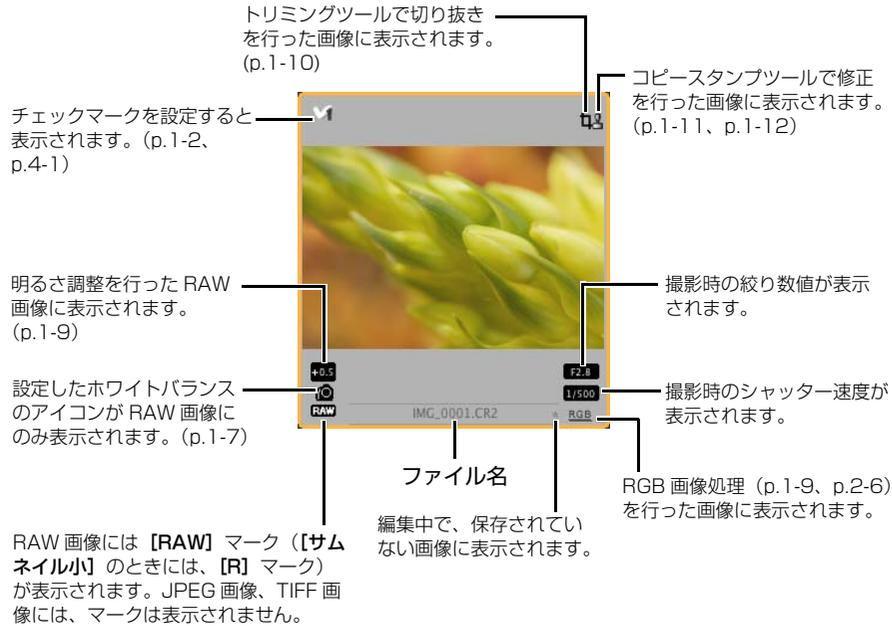
現在選ばれている画像数を表示します。

● 画像を選ぶときは、目的の画像をクリックします。
● 複数の画像を選ぶときは、〈⌘〉キーを押したまま画像をクリックします。
● 連続した画像を選ぶときは、最初の画像をクリックしたあと、〈shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックします。

ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-2）を参照してください。

● RAW 画像のみや、チェックマークを設定した画像のみを選ぶときは、［編集］メニュー ▶［RAW 画像のみ選択］または、［チェックマーク * 付き画像のみ選択］を選びます。（* には 1 ～ 3 のチェックマーク番号が入ります）
● ［表示］メニュー ▶［ツールバー］を選ぶと、ツールバーを表示／非表示にすることができます。
● Digital Photo Professional の終了は、［Digital Photo Professional］メニュー ▶［Digital Photo Professional を終了］を選びます。

画像に表示される情報

下の画像は、**[サムネイル大]**（p.1-5）を選んだときに表示される情報です。

PowerShot Pro1 の RAW 画像には、**[RAW]** マークは表示されません。

画像を表示する

パソコンに保存されている画像をメイン画面に表示します。

画像が保存されているフォルダをクリックする

- カメラ内のメモリーカードに保存されている画像は表示できません。あらかじめ、カメラに付属している他のソフトウェアや市販のカードリーダーを使用して、画像をパソコンに保存してください。
- EOS 10D、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro1 で Adobe RGB に設定し、撮影した JPEG 画像は、sRGB の色空間が適用されて表示されることがあります。

- 表示できる画像については、「対応画像」を参照してください。（p.0-2）
- 表示できない画像は、**[×]** が表示されます。
- カメラで「縦横自動回転表示」を「入」に設定して縦位置撮影した画像は、自動的に縦位置で表示されます。
- 市販のカードリーダーを使うと、メモリーカードに保存されている画像を表示することができます。

フォルダ操作

フォルダを〈control〉＋クリックして表示されるメニューで、各種のフォルダ操作を行うことができます。

フォルダを〈control〉＋クリックし、表示されるメニューから操作を選ぶ

- フォルダエリアのフォルダは、ドラッグ アンド ドロップで他のフォルダへ移動したり、〈option〉キーを押しながらドラッグ アンド ドロップすると、コピーすることができます。

新しいフォルダを作成する

フォルダエリアに新しいフォルダを作成することができます。

1 フォルダを作成する場所をフォルダエリアで選ぶ

2 ［ファイル］メニュー ▶［新規フォルダの作成］を選ぶ

→［新規フォルダの作成］画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力する

→ フォルダが作成されます。

よく使うフォルダをブックマークに登録する

よく使うフォルダを［ブックマーク］メニューに登録することができます。

1 フォルダエリアでフォルダを選ぶ

2 ［ブックマーク］メニュー ▶［追加］を選ぶ

→［ブックマーク］メニューに選んだフォルダが登録されます。

- 登録されたフォルダは、［ブックマーク］メニューから選ぶことができます。

ブックマークを整理する

［ブックマーク］メニューに登録されたフォルダの名前を変更したり、登録したフォルダを削除することができます。

1 ［ブックマーク］メニュー ▶［整理］を選ぶ

→［ブックマークの整理］画面が表示されます。

2 フォルダ名を変更または削除する

- フォルダ名を変更するときは、ブックマークフォルダエリアでフォルダを選び、表示されたフォルダ名を変更して、［変更］ボタンを押します。
- フォルダを削除するときは、ブックマークフォルダエリアでフォルダを選び、［削除］ボタンを押します。

3 ［閉じる］ボタンを押す

画像をコピーする

画像をコピーして他のフォルダに保存することができます。

1 コピーする画像を選ぶ

2 ［編集］メニュー ▶ ［コピー］を選ぶ
➜ 画像がコピーされます。

3 画像を保存するフォルダを選ぶ

4 ［編集］メニュー ▶ ［ペースト］を選ぶ
➜ 選んだフォルダに画像がコピーされます。

画像を削除する

不要な画像をパソコンのごみ箱に移動して削除します。

1 画像を選び、［ファイル］メニュー ▶ ［削除］を選ぶ
➜ 画像がゴミ箱に移動します。

2 デスクトップ上で、［Finder］メニュー ▶ ［ゴミ箱を空にする］を選ぶ
➜ 画像が削除されます。

- 手順 2 の操作で削除した画像は復元できません。十分に確認してから削除してください。
- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が削除の対象となります。直前の作業で複数の画像を選んだときなどは、特に注意してください。

EOS 10D、EOS Kiss Digital、EOS D60、EOS D30、PowerShot Pro1 で撮影した画像が保存されている［xxxCANON］フォルダには、［CRW_YYYY.CRW］（RAW 画像）、［IMG_YYYY.JPG］（JPEG 画像）の他に［CRW_YYYY.THM］（カメラのインデックス表示用画像）が保存されています。Digital Photo Professional では［CRW_YYYY.THM］は表示されないため、移動や削除はできません。
［CRW_YYYY.THM］の移動や削除は、ファインダー上で行ってください。
フォルダ名の［xxx］と、画像名の［YYYY］には、それぞれ数字が入ります。

画像の表示方法を選ぶ

画像の大きさや表示方法を変更したり、条件別に並べ替えることができます。

サムネイル表示の大きさを選ぶ

画像の大きさを［サムネイル大］、［サムネイル中］、［サムネイル小］の 3 種類から選ぶことができます。表示枠には、各種の情報（p.1-3）が表示されます。

［表示］メニュー ▶ 設定する大きさを選ぶ
➜ 選んだ大きさで画像が表示されます。

情報付表示

画像の輝度ヒストグラムと撮影情報を表示することができます。

［表示］メニュー ▶ ［情報付きサムネイル］を選ぶ
➜ 情報付の画像が表示されます。

画像を並べ替える

画像を条件によって並べ替えます。

［表示］メニュー ▶ ［整列］ ▶ 設定する条件を選ぶ
➜ 選んだ条件で画像が並べ替えられます。

［ファイル名］：ファイル名を 0 ～ 9 → a ～ z の順に表示します。
［RAW 優先］：RAW 画像（CR2 → CRW → TIF）→ RGB 画像（JPG → TIF）の順に表示します。拡張子が同じときは、［ファイル名］順に表示します。
［チェックマーク 1］［チェックマーク 2］［チェックマーク 3］：選んだ番号のチェックマークが付いた画像→他の番号のチェックマークが付いた画像→チェックマークのない画像の順に表示します。チェックマーク番号が同じときは、［ファイル名］順に表示します。
［撮影日時］：撮影日時の早い順に表示します。撮影日時が同じときは、［ファイル名］順に表示します。

画像情報を表示する

画像の各種情報を確認することができます。

画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［画像情報］を選ぶ

➜ 画像情報が表示されます。

EOS 10D、EOS Kiss Digital、PowerShot Pro1 で Adobe RGB に設定し、撮影した JPEG 画像は、画像情報が表示されないことがあります。

編集画面表示

画像を拡大表示して、詳細な編集を行うことができます。

画像をダブルクリックする

➜ 編集画面が表示されます。
- 編集画面については、「2 章　編集画面で詳細な画像編集をする」を参照してください。

セレクト編集画面表示

複数の画像から、1 枚の画像を選んで、詳細な編集を行うことができます。

複数の画像を選び、［セレクト編集画面］ボタンを押す

➜ メイン画面がセレクト編集画面に切り換わります。
- セレクト編集画面については、「3 章　セレクト編集画面で詳細な画像編集をする」を参照してください。

クイックチェック画面表示

画像を個別に拡大表示して、1 枚ずつ高速に閲覧／確認をすることができます。

複数の画像を選び、［ツール］メニュー ▶［クイックチェックツールを起動］を選ぶ

➜ クイックチェック画面が表示されます。
- クイックチェック画面については、「4 章　クイックチェック画面で画像を表示する」を参照してください。

RAW 画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像に、各種の編集を行うことができます。また、RAW 画像編集（p.1-6 ～ p.1-9）は、編集にともなう画像の劣化がほとんどありません。そのため、撮影時の画質を保持したまま、何度でも編集することができます。

1 **RAW 画像を選ぶ**

2 **RAW 画像を編集する（p.1-6 ～ p.1-9）**
- 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。（p.1-13）
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。（p.1-14）

3 **編集した画像を保存する（p.1-14）**

- PowerShot Pro1 の RAW 画像は編集できません。
- 編集した画像は、保存（p.1-14）してから Digital Photo Professional を終了してください。

- 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。
- 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。（p.1-13）
- 編集した画像は、画像編集用ソフトウェアに転送することができます。（p.1-18）

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスを各種の方法で設定することができます。

1 **［ホワイトバランス］ボタンを押す（p.1-2）**

➜［ホワイトバランス調整］画面が表示されます。
- ［調整］メニュー ▶［ホワイトバランス］を選んで表示することもできます。

2 **各種の方法でホワイトバランスを調整する（p.1-7、p.1-8）**

3 **［閉じる］ボタンを押す**

ホワイトバランスを選ぶ

ホワイトバランスを設定することができます。

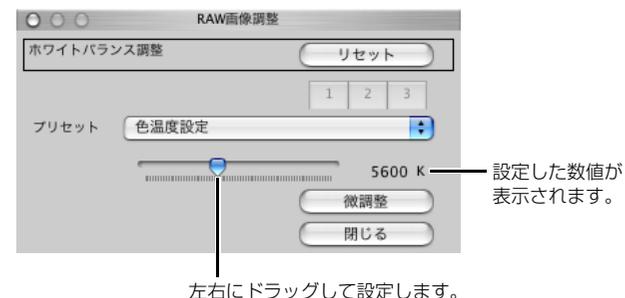
リストボックスからホワイトバランスを選ぶ

ホワイトバランス	内　容	色温度 K（ケルビン）
撮影時設定	撮影時のホワイトバランスを適用するときに選びます。	－
オート	自動的にホワイトバランスを調整します。	約 3000 ～ 7000
太陽光	晴天の屋外で撮影したときに選びます。	約 5200
日陰	屋外の日陰で撮影したときに選びます。	約 7000
くもり	くもり、薄暮、夕やけ空などで撮影したときに選びます。	約 6000
白熱電球	白熱電球の照明で撮影したときに選びます。	約 3200
白色蛍光灯	白色蛍光灯の照明で撮影したときに選びます。	約 4000
ストロボ	ストロボを使用して撮影したときに選びます。	約 6000
色温度設定	ホワイトバランスの色温度を 2800 ～ 10000K（100K ステップ）の範囲で直接設定することができます。	約 2800 ～ 10000
クリックホワイトバランス	クリックホワイトバランスを行った画像を選んだときに表示されます。	－

色温度を設定する

色温度を 2800 ～ 10000K（100K ステップ）の範囲で設定することができます。

1 リストボックスから［色温度設定］を選ぶ

2 画像を見ながら調整する

カラーホイールで調整する

カラーホイールで好みの色を直接選んで調整することができます。

また、色あいを 0 ～ 359（1 ステップ）、色の濃さを 0 ～ 255（1 ステップ）の範囲で設定することもできます。

1 ［微調整］ボタンを押す

➜ カラーホイールが表示されます。

2 画像を見ながら調整する

● ［ ◻ ］をドラッグして調整します。

数値を入力するか、［▲］／［▼］ボタンを押して設定することもできます。

カスタムホワイトバランス

編集画面または、セレクト編集画面で登録したカスタムホワイトバランス（p.2-4）を適用することができます。

［1］～［3］のボタンを押す

➜ 登録されているカスタムホワイトバランスが適用されます。

カスタムホワイトバランス未登録時は使用できません。

クリックホワイトバランス

選んだ箇所を白の基準として、画像の色を調整することができます。

1 ［クリック（RAW）］ボタンを押す（p.1-2）

➜ 画像の上にカーソルを移動すると、［↖］が［✎］に変わります。

2 白の基準とする個所をクリックする

➜ 選んだ個所を白の基準として画像の色が調整されます。

● 続けて別の個所をクリックすると、再度調整されます。

● クリックホワイトバランスを終了するときは、［クリック（RAW）］ボタンを押します。

● カーソルの座標位置と RGB 値（8bit 換算）がメイン画面の左下に表示されます。（p.1-2）

● クリックした個所から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。

● 無彩色（ニュートラルグレイ）の個所を選んでも、白色の個所を選んだときと同等の調整結果になります。

表紙／目次
はじめに
メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする
編集画面で詳細な画像編集をする
セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
クイックチェック画面で画像を表示する
資料

索 引

明るさを調整する

画像の明るさを－ 2.0 ～＋ 2.0（数値入力では 0.01 ステップ）の範囲で調整することができます。

1 [明るさ（RAW）] ボタンを押す（p.1-2）

→ [明るさ調整] 画面が表示されます。

● [調整] メニュー ▶ [明るさ調整（RAW）] を選んで表示することもできます。

2 画像を見ながら調整する

3 [閉じる] ボタンを押す

色空間の設定

環境設定（p.1-21）の **[標準作業用色空間]** とは別の色空間を設定することができます。

[調整] メニュー ▶ [作業用色空間] ▶ 設定する色空間を選ぶ

→ 選んだ色空間が設定されます。

設定した色空間は、RAW 画像を変換／保存（p.1-15、p.1-16）した TIFF 画像、JPEG 画像に付加される ICC プロファイルに記載されます。
色空間とは色の再現領域（色域特性）を示したもので、Digital Photo Professional では、次の 5 種類の色空間に対応しています。

sRGB	：Windows の標準色空間です。また、モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。
Adobe RGB	：sRGB よりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。
Wide Gamut RGB	：Adobe RGB よりもさらに広域な色空間です。
Apple RGB	：Macintosh の標準色空間です。sRGB よりも若干広域な色空間です。
ColorMatch RGB	：sRGB よりも若干広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。

画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像に、各種の編集を行うことができます。

1 画像を選ぶ

2 画像を編集する（p.1-9 ～ p.1-12）

● 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。（p.1-13）
● 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。（p.1-14）

3 編集した画像を保存する（p.1-14）

編集した画像は、保存（p.1-14）してから Digital Photo Professional を終了してください。

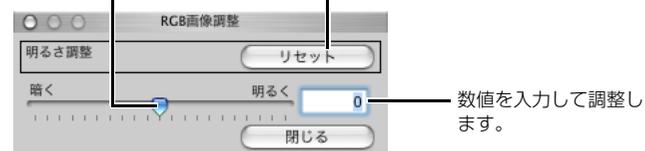
● 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像に編集内容が適用されます。
● 編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。（p.1-13）
● 編集した画像は、画像編集用ソフトウェアに転送することができます。（p.1-18）

明るさを調整する

画像の明るさを－ 100 ～＋ 100（数値入力では 1 ステップ）の範囲で調整することができます。

1 [調整] メニュー ▶ [明るさ調整] を選ぶ

→ [明るさ調整] 画面が表示されます。

2 画像を見ながら調整する

3 [閉じる] ボタンを押す

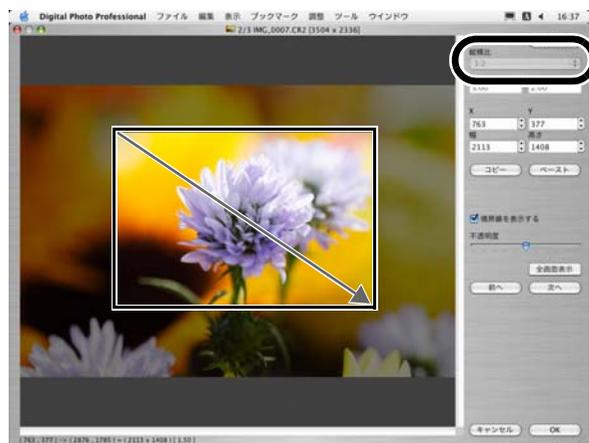
画像を切り抜く

画像を任意の範囲で切り抜くこと（トリミング）ができます。

1 ［ツール］メニュー ▶［トリミングツールを起動］を選ぶ

➜ トリミング画面が表示されます。

2 画像を切り抜く（トリミング）

- ［縦横比］リストボックスから任意の比率を選び、図のようにトリミング範囲をドラッグします。

カーソルの座標位置を表示します。
トリミング範囲を設定したときは、枠の左上、右下の XY 座標、幅、高さ、アスペクト比を表示します。

- 設定したトリミング範囲内にカーソルを移動すると、［⊡］が［✥］に変わります。ドラッグしてトリミング範囲を移動することができます。
- 設定したトリミング範囲の四隅にカーソルを移動すると、［⊡］が［✛］に変わります。ドラッグしてトリミング範囲の大きさを変更することができます。
- ［縦横比］リストボックスで［フリー］を選んだときは、設定したトリミング範囲の四辺にカーソルを移動すると、［⊡］が［↕］または、［↔］に変わります。ドラッグしてトリミング範囲の大きさを変更することができます。

* 複数の画像を選んでトリミング画面を表示したときに動作します。

3 ［OK］ボタンを押す

- ［縦横比］の設定、全画面表示／通常画面表示の切り換えは、画像上で〈control〉＋クリックして表示されるメニューで行うこともできます。
- ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-3）を参照してください。

画像を修正する

リペア機能やコピースタンプ機能を使って、画像を修正することができます。

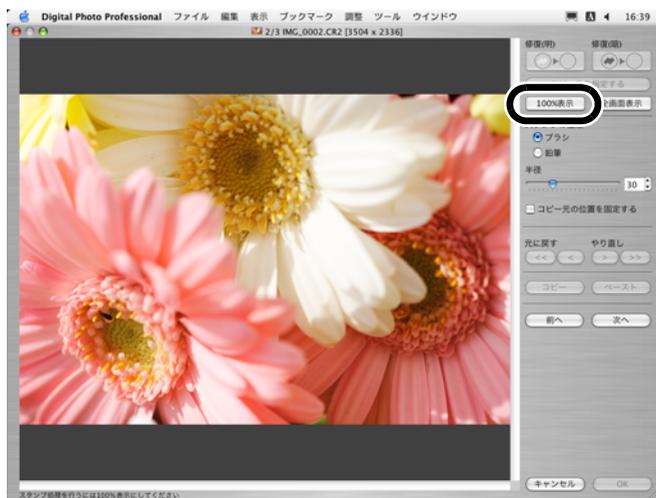
リペア

画像上の不要な点（消去したい点）を周囲の色に合うよう修正することができます。

1 **［ツール］メニュー ▶［コピースタンプツールを起動］を選ぶ**

→ コピースタンプ画面が表示されます。

2 **［100%表示］ボタンを押す**

→ 画像が 100%表示になります。

3 **修正したい個所を表示する**

● 画像上でドラッグ操作を行い、修正したい個所を表示します。

4 **［修復（明）］ボタンまたは、［修復（暗）］ボタンを押す**

● 不要な点（消去したい点）が明色系のときは［修復（明）］ボタンを押し、暗色系のときは［修復（暗）］ボタンを押します。

→ 画像上にカーソルを移動すると、修正範囲が［○］で表示されます。

* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

5 **画像上の不要な点を修正範囲の［○］内に入れてクリックする**

→ 修正範囲内の不要な点が修正されます。

● 続けてクリックすると、選んだ修正範囲内の不要な点が修正されます。

● 別の個所を修正するときは、［修復（明）］ボタンまたは、［修復（暗）］ボタンを押してリペア機能を解除し、再度、手順 3 からの操作を行ってください。

6 **［OK］ボタンを押す**

リペア機能で修正できない個所を選んだときは、［🚫］が表示されます。

● 手順 2 の操作は、修正したい個所をダブルクリックして、100%表示にすることもできます。また、再度ダブルクリックすると元の表示に戻ります。

● ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-3）を参照してください。

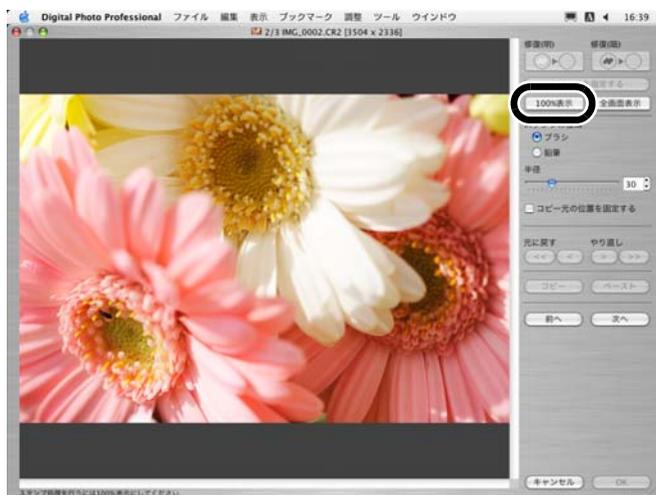
表紙／目次
はじめに
1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする
2 編集画面で詳細な画像編集をする
3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
4 クイックチェック画面で画像を表示する
5 資料
索引

コピースタンプ

画像上の不要な個所に、同じ画像の他の部分からコピーした画像をペーストして修正することができます。

1 ［ツール］メニュー ▶［コピースタンプツールを起動］を選ぶ

➜ コピースタンプ画面が表示されます。

2 ［100%表示］ボタンを押す

➜ 画像が 100%表示になります。

3 修正したい個所を表示する

- 画像上でドラッグ操作を行い、修正したい個所を表示します。

4 コピーする部分を指定する

- ［コピー元を指定する］ボタンを押して、コピーする部分をクリックします。
- コピーする部分を変更するときは、再度上記の操作を行ってください。

* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

5 画像を修正する

- 画像上の修正したい個所をクリックまたはドラッグします。画面上の［＋］がコピー元、［○］がコピー先になります。

➜ コピー元の画像がドラッグした位置にペーストされます。

6 ［OK］ボタンを押す

- 手順 2 の操作は、修正したい個所をダブルクリックして、100%表示にすることもできます。また、再度ダブルクリックすると元の表示に戻ります。
- 手順 4 の操作は、〈option〉キーを押しながらコピーする部分をクリックして指定することもできます。
- ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-3）を参照してください。

編集内容（レシピデータ）を使用する

RAW 画像に適用した編集内容（p.1-6 ～ p.1-9、p.2-3 ～ p.2-6）や、JPEG 画像、TIFF 画像、RAW 画像に適用した編集内容（p.1-9 ～ p.1-12、p.2-6 ～ p.2-8）は、コピーして他の同じ種類の画像に反映したり、画像とは別の単独ファイルとして保存／読み込みをすることができます。Digital Photo Professional では、この編集内容を「レシピデータ」という名称のデータとして扱うことができます。

レシピを保存する

1. **画像を選び、［編集］メニュー ▶［レシピをファイルに保存］を選ぶ**
   ➜［保存］画面が表示されます。
2. **保存先を選び、ファイル名を入力して［保存］ボタンを押す**

- ［レシピをファイルに保存］では、レシピデータ（編集内容）のみを画像とは別の単独ファイルとして保存します。編集内容を画像に反映して保存するときは、「編集した画像を保存する」（p.1-14）を参照してください。
- 画像回転（p.1-2）、切り抜き（トリミング）（p.1-10）、画像修正（リペア、コピースタンプ）（p.1-11、p.1-12）は、レシピデータに含まれません。

レシピを読み込んでペーストする

1. **画像を選び、［編集］メニュー ▶［レシピをファイルから読み込み］を選ぶ**
   ➜［開く］画面が表示されます。
2. **レシピを選んで［開く］ボタンを押す**
3. **レシピを適用する画像を選び、［編集］メニュー ▶［レシピを選択画像にペースト］を選ぶ**

RAW 画像にのみ適用できる編集（p.1-6 ～ p.1-9、p.2-3 ～ p.2-6）を行った RAW 画像のレシピデータは、JPEG 画像、TIFF 画像には適用できません。また、JPEG 画像、TIFF 画像、RAW 画像に適用できる編集（p.1-9 ～ p.1-12、p.2-6 ～ p.2-8）と、RAW 画像にのみ適用できる編集（p.1-6 ～ p.1-9、p.2-3 ～ p.2-6）の両方を行った RAW 画像のレシピデータを JPEG 画像、TIFF 画像に適用したときは、JPEG 画像、TIFF 画像にのみ適用できる編集内容が反映されます。

レシピをコピーして他の画像に適用する

1. **レシピをコピーする画像を選び、［編集］メニュー ▶［レシピをクリップボードにコピー］を選ぶ**
   ➜ レシピがコピーされます。
2. **レシピを適用する画像を選び、［編集］メニュー ▶［レシピを選択画像にペースト］を選ぶ**
   ➜ レシピが画像に適用されます。

- 画像回転（p.1-2）、切り抜き（トリミング）（p.1-10）、画像修正（リペア、コピースタンプ）（p.1-11、p.1-12）は、レシピデータに含まれません。
- RAW 画像にのみ適用できる編集（p.1-6 ～ p.1-9、p.2-3 ～ p.2-6）を行った RAW 画像のレシピデータは、JPEG 画像、TIFF 画像には適用できません。また、JPEG 画像、TIFF 画像、RAW 画像に適用できる編集（p.1-9 ～ p.1-12、p.2-6 ～ p.2-8）と、RAW 画像にのみ適用できる編集（p.1-6 ～ p.1-9、p.2-3 ～ p.2-6）の両方を行った RAW 画像のレシピデータを JPEG 画像、TIFF 画像に適用したときは、JPEG 画像、TIFF 画像にのみ適用できる編集内容が反映されます。

編集内容を元の状態に戻す

画像に設定した編集内容をすべて破棄して、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻します。

最後に保存した状態に戻す

画像を選び、［調整］メニュー ▶［最後に保存した状態に戻す］を選ぶ

複数の画像を選んでいるときは、選んでいるすべての画像が最後に保存した状態に戻ります。

撮影時の状態に戻す

画像を選び、［調整］メニュー ▶［撮影時の状態に戻す］を選ぶ

複数の画像を選んでいるときは、選んでいるすべての画像が撮影時の状態に戻ります。

編集した画像を保存する

編集した設定内容を画像に反映して保存することができます。

上書き保存する

編集した内容を画像に反映して、上書き保存します。

画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［レシピを付加して保存］を選ぶ

別名で保存する

編集した内容を画像に反映して、別画像として保存します。

1 画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［レシピを付加して別名で保存］を選ぶ

→［別名で保存］画面が表示されます。

2 保存先を選び、ファイル名を入力して［保存］ボタンを押す

画像にサムネイルを付加する

メイン画面の表示に使用するサムネイル画像を新規に作成し、それぞれの画像に付加します。メイン画面での画像表示速度や、画質が向上します。

画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［画像にサムネイルを付加して保存］を選ぶ

大量の画像を選んだときは、付加するまでに時間がかかることがあります。

RAW 画像を別画像に変換／保存する

編集した RAW 画像を TIFF 画像または、JPEG 画像に変換／別画像として保存することができます。

1 画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［変換して保存］を選ぶ

➜［変換して保存］画面が表示されます。

2 各項目を設定して［保存］ボタンを押す

画像の種類	拡張子
Exif-JPEG	.JPG
Exif-TIFF 8bit	.TIF
TIFF 16bit	.TIF

Wide Gamut RGB、Apple RGB、ColorMatch RGB の色空間を設定（p.1-9、p.1-21）した画像を保存したときは、ICC プロファイルのチェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

- 編集しない画像を、別画像として保存することもできます。
- ［画像サイズ設定］は、横位置、縦位置の画像が混在していても、［幅］または［高さ］で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。
- トーンカーブを［リニア］（p.2-6）に設定したときは、［TIFF 16bit］を選んで保存します。
- TIFF 画像、JPEG 画像に埋め込まれる ICC プロファイルには、環境設定（p.1-21）または、個別に設定した色空間（p.1-9）が記載されます。ICC プロファイルとは、International Color Consortium（国際照明委員会）が認定した各機器の色特性や色空間などの色に関する情報が記載されたファイルです。多くのカラーマネージメントシステムは、この ICC プロファイルを使うことで、機器間の色の違いを最小限に抑えることができます。

画像を一括して変換／保存する（バッチ処理）

編集した複数の画像を別画像として一括保存することができます。また、編集した RAW 画像は JPEG 画像、TIFF 画像に一括して変換／保存することができます。

1 画像を編集する（p.1-6 ～ p.1-12）

2 一括変換／保存する画像を選ぶ

3 **［一括保存］ボタンを押す**（p.1-2）

→ **［一括保存設定］**画面が表示されます。

● **［ファイル］**メニュー ▶ **［一括保存］**を選んで表示することもできます。

4 各項目を設定する

5 **［実行］ボタンを押す**

→ 処理画面が表示され、一括保存が開始されます。

→ 終了すると設定したフォルダに画像が保存され、処理画面に**［終了］**ボタンが表示されます。

6 **［終了］ボタンを押す**

一括保存する画像のファイル名が表示されます。

保存する画像の出力解像度を 1 ～ 60,000dpi の範囲で設定します。

保存する画像のサイズを変更するときにチェックします。

画像の幅を設定します。

画像の縦横比を固定するときにチェックします。

ファイル名を変更しないときに選びます。

ファイル名を変更するときに選びます。

一括変換／保存した画像を画像編集用ソフトウェアに転送します。（p.1-18）

保存する画像の種類を選びます。画像の種類と保存後の拡張子は、**［変換して保存］**画面（p.1-15）の表を参照してください。

変換後の画像を保存するフォルダを指定します。**［参照］**ボタンの横には、設定したフォルダ名が表示されます。

［ファイルの種類］リストボックスで**［Exif-JPEG］**を選んだときは、スライダーを左右にドラッグして画質（圧縮率）を 1 ～ 10 の範囲で設定します。数値が大きくなるほど高画質になります。

保存する画像へ ICC プロファイルを埋め込むときにチェックします。

画像の高さを設定します。

単位を選びます。

［新しいファイル名］を選んだときの文字列と連番を設定します。**［例］**の個所には設定内容の使用例が表示されます。

設定した連番を記憶することができます。

一括保存が開始されます。

設定内容をすべてキャンセルして画面を閉じます。

● **［ファイル名］**の**［新しいファイル名］**を選んだときは、**［連番］**を設定しないと一括保存はできません。

● Wide Gamut RGB、Apple RGB、ColorMatch RGB の色空間を設定（p.1-9、p.1-21）した画像を保存したときは、ICC プロファイルのチェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

● 編集しない複数の画像を別画像として、一括保存することもできます。

● **［画像サイズ設定］**は、横位置、縦位置の画像が混在していても、**［幅］**または**［高さ］**で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。

● 一括保存機能は、他の機能とは独立して動作します。そのため、一括保存中は、メイン画面、編集画面、セレクト編集画面などでの画面操作を並行して行うことができます。

● TIFF 画像、JPEG 画像に埋め込まれる ICC プロファイルには、環境設定（p.1-21）または、個別に設定した色空間（p.1-9）が記載されます。ICC プロファイルとは、International Color Consortium（国際照明委員会）が認定した各機器の色特性や色空間などの色に関する情報が記載されたファイルです。多くのカラーマネージメントシステムは、この ICC プロファイルを使うことで、機器間の色の違いを最小限に抑えることができます。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を表示する

索　引

ファイル名を一括して変更する

画像のファイル名を一括して変更することができます。

1 ファイル名を変更する画像を選ぶ

2 [ツール] メニュー ▶ [リネームツールを起動] を選ぶ

➜ リネームツール画面が表示されます。

3 各項目を設定して [実行] ボタンを押す

➜ 処理が開始され、ファイル名が変更されます。

画像編集用ソフトウェアに画像を転送する

1 枚の画像を Photoshop に転送する

1 枚の画像を Adobe Photoshop に転送することができます。

1 Photoshop に転送する画像を選ぶ

2 ［ツール］メニュー ▶［Photoshop へ転送］を選ぶ

➜ Photoshop が起動し、転送された画像が表示されます。
➜ RAW 画像は、TIFF 16bit 画像に変換されて転送されます。

- 画像転送を行うには、市販の Adobe Photoshop が必要です。
- 対応する Photoshop のバージョンは、CS、7.0 です。また、Photoshop Elements には転送できません。
- 1 度に転送できる画像は 1 枚です。複数の画像を同時に転送することはできません。
- 画像を転送したときは、自動的に TIFF 16bit 画像に変換され、ICC プロファイルが付加されます。ICC プロファイルには、環境設定（p.1-21）または、個別に設定した作業用色空間（p.1-9）の情報が記載され、適切な色情報を Photoshop に伝達できます。

複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送する

複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送することができます。ここでは、Adobe Photoshop CS を例にしています。

1 一括変換／保存の設定をする

- 「画像を一括して変換／保存する（バッチ処理）」（p.1-16）の手順 1 ～ 4 までの操作を行います。

2 ［一括保存設定］画面の［参照］ボタンを押す

➜［開く］画面が表示されます。

3 画像を転送する画像編集用ソフトウェア（Photoshop CS）を選ぶ

- Photoshop CS をインストールしたドライブ ▶［アプリケーション］フォルダ ▶［Adobe Photoshop CS］フォルダ ▶［Adobe Photoshop CS］の順に選び、［開く］ボタンを押します。

➜［開く］画面が閉じ、［一括保存設定］画面の［画像転送設定］に Photoshop が設定されます。

4 ［ソフトウェアを使用して画像を開く］をチェックする

5 ［実行］ボタンを押す

➜ 処理画面が表示され、一括保存が開始されます。
➜ 一括保存が終了すると Photoshop が起動して、転送した画像が表示されます。

画像転送を行うには、Adobe Photoshop など市販の画像編集用ソフトウェアが必要です。

画像を印刷する

画像を自動的に調整し、プリンターの印刷範囲に合わせて印刷します。

1 **画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［プリント］を選ぶ**

2 **印刷するプリンターを選び、［プリント］ボタンを押す**

➜ 印刷が開始されます。

- ［ファイル］メニュー ▶［ページ設定］を選ぶと、用紙サイズなどを設定することができます。
- 印刷に使用するプリンターのプロファイルを設定することができます。また、プロファイルを設定したときは、マッチング方法を設定することもできます。（p.1-21）
- CMYK シミュレーションを設定（p.1-21）したときは、設定した［**CMYK シミュレーション用プロファイル**］の色味で印刷されます。

Easy-PhotoPrint で印刷する

Easy-PhotoPrint は、キヤノン製 BJ プリンター専用の印刷ソフトウェアです。
使用しているパソコンに、Easy-PhotoPrint 2.1 以降がインストールされているときは、Easy-PhotoPrint で印刷することができます。

画像を選び、［ファイル］メニュー ▶［Easy-PhotoPrint でプリント］を選ぶ

➜ Easy-PhotoPrint が起動します。

- Easy-PhotoPrint の画面にしたがって操作し、印刷します。

- Easy-PhotoPrint で印刷するには、バージョン 2.1 以降の Easy-PhotoPrint と、対応したキヤノン製 BJ プリンターが必要です。
- 設定した出力解像度（p.1-20）、切り抜き（トリミング）（p.1-10）は反映されません。
- CMYK シミュレーション（p.1-21）の設定内容は反映されません。

印刷する時のマッチング形式を設定することができます。（p.1-21）

EOS Capture で撮影した画像を表示する

Digital Photo Professional バージョン 2.0 は、EOS Capture バージョン 1.1 以降に対応しています。使用しているパソコンに、EOS Capture バージョン 1.1 以降がインストールされているときは、EOS Capture と連携して、Digital Photo Professional に撮影画像を表示することができます。

1 **カメラとパソコンを接続し、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする**

- ［CameraWindow］などの画面が表示されたときは、表示されたすべての画面を終了します。

2 **［ツール］メニュー ▶［EOS Capture を起動］を選ぶ**

➜ EOS Capture が起動します。

3 **撮影する**

- EOS Capture の［**撮影**］ボタンまたは、カメラのシャッターボタンを押して撮影します。

➜ 撮影した画像が、Digital Photo Professional のメイン画面に表示されます。

EOS Capture を起動したときに、Digital Photo Professional の画面を自動的にセレクト編集画面に切り換えることができます。（p.1-20）

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を表示する

資料

索引

環境設定

Digital Photo Professional の各種内容を設定することができます。

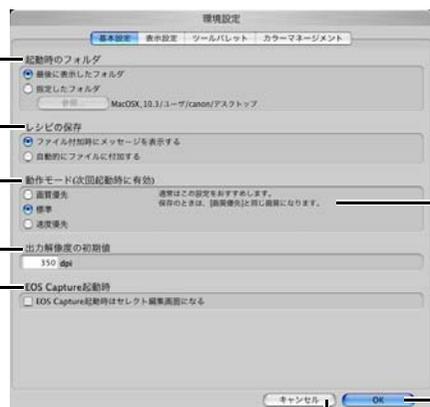
1 ［Digital Photo Professional］メニュー ▶ ［環境設定］を選ぶ

➜ ［環境設定］画面が表示されます。

2 タブを選び、各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➜ 設定内容が適用され、［環境設定］画面が閉じます。

Digital Photo Professional 終了時または、メイン画面に表示している画像を他のフォルダの画像に切り換えたとき、自動的に編集内容を画像に反映して保存するか、確認画面を表示するかを選びます。

Digital Photo Professional 起動時に、前回開いていたフォルダ内容を表示するか、常に指定したフォルダ内容を表示するかを選びます。

［動作モード］の説明が表示されます。

設定内容を適用して画面を閉じます。

チェックすると、EOS Capture を起動したときに、自動的にセレクト編集画面が表示されます。

設定内容をすべてキャンセルして画面を閉じます。

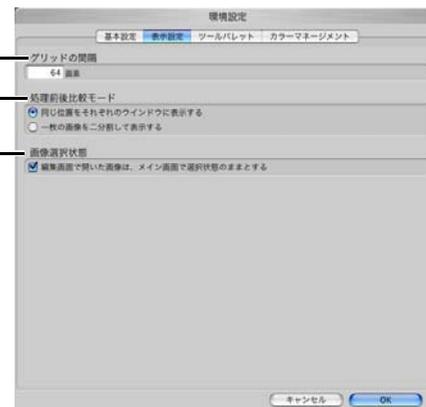
RAW 画像を JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存するときの、出力解像度の初期設定値を 1 ～ 60,000dpi の範囲で設定します。

表示画像の画質や保存するときの画質を設定することができます。

［画質優先］：画像の表示と保存のときに、各種のフィルター処理を行うため、より忠実な画質になります。ただし、画像の表示や保存には時間がかかります。

［標準］　　：画像の表示にはフィルター処理を行わないため［画質優先］に比べて表示速度が向上します。保存のときは、［画質優先］と同じ画質になります。

［速度優先］：画像の表示と保存のときに、各種のフィルター処理を行わないため、［画質優先］に比べて表示や保存の速度が向上します。

編集画面、セレクト編集画面でグリッド表示（p.2-3）したときのグリッドの間隔を 8 ～ 256 画素の範囲で設定します。

チェックすると、編集画面で開いた画像がメイン画面で選択されたままになります。

編集画面、セレクト編集画面で、画像を編集前後比較表示（p.2-3）にしたときの表示方法を選びます。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする 1

編集画面で詳細な画像編集をする 2

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする 3

クイックチェック画面で画像を表示する 4

資料 5

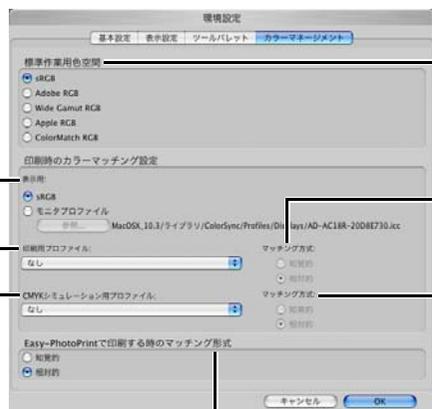
索引

ツールパレットの［RGB 画像調整］タブ画面に表示されるヒストグラムの表示を選びます。

ツールパレットの［RGB 画像調整］タブ画面に表示される［トーンカーブモード］（トーンカーブの表示）、［補間方法］（結びかた）を選びます。（p.2-7）

チェックすると、ピクチャースタイルの項目ごとに設定した、［色あい］、［色の濃さ］、［シャープネス］を保持することができます。（p.2-5、p.2-6）

編集画面、セレクト編集画面のツールパレットを［ドッキング表示］（同一画面表示）にするか、［フローティング表示］（別画面表示）にするかを選びます。

モニターの色空間を選びます。［モニタプロファイル］を選んだときは、［参照］ボタンを押して、使用するモニターのプロファイルを選びます。

作業用色空間を 5 種類の色空間から選びます。

印刷用プロファイルを設定したときのマッチング方法を選びます。

CMYK シミュレーション用プロファイルを設定したときのマッチング方法を選びます。

Easy-PhotoPrint で印刷（p.1-19）するときのマッチング方法を選びます。

CMYK シミュレーションに使用するプロファイルを選びます。
選んだプロファイルの色味で画像が表示され、印刷などの CMYK 環境での色味をシミュレーションすることができます。また、この設定を行うと、各画面の下部に［CMYK］が表示されます。（p.1-2、p.2-2、p.3-1）なお、編集画面（p.2-2）、セレクト編集画面（p.3-1）では、キーボードの〈スペース〉キーを押している間は、CMYK シミュレーションの表示を一時的に解除することができます。

画像を印刷（p.1-19）するときに使用するプリンターのプロファイルを選びます。

- ［ツールパレット］タブ画面の［RGB 画像調整のトーンカーブモードの初期設定］、［カラーマネージメント］タブ画面の［標準作業用色空間］を変更したときは、Digital Photo Professional を再起動すると、設定内容が適用されます。ただし、変更前に画像編集（p.1-9～p.1-12、p.2-6～p.2-8）を行い、［RGB］マーク（p.1-3）が表示されている画像には、設定内容が適用されません。トーンカーブはトーンカーブを〈control〉+クリックして表示されるメニュー（p.2-7）で、色空間は［調整］メニュー▶［作業用色空間］（p.1-9）で、それぞれ個別に変更してください。
- モニターおよびプリンターのプロファイルを選ぶには、事前に使用するプロファイルがパソコンへインストールされている必要があります。使用するモニターおよびプリンターのプロファイルについては、それぞれの機器の使用説明書を参照してください。

- 設定した色空間は、RAW 画像を変換／保存（p.1-15、p.1-16）した TIFF 画像、JPEG 画像に付加される ICC プロファイルに記載されます。色空間とは色の再現領域（色域特性）を示したもので、Digital Photo Professional では、次の 5 種類の色空間に対応しています。

sRGB	Windows の標準色空間です。また、モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。
Adobe RGB	sRGB よりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。
Wide Gamut RGB	Adobe RGB よりもさらに広域な色空間です。
Apple RGB	Macintosh の標準色空間です。sRGB よりも若干広域な色空間です。
ColorMatch RGB	sRGB よりも若干広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。

- マッチング方法とは、画像印刷時の色変換方法で、［知覚的］、［相対的］から選ぶことができます。

知覚的	一般的には、写真のような自然画像に適したマッチング方法で、肌色や空色などの中間色を微細に表現します。
相対的	一般的には、グラフィック系の画像に適したマッチング方法で、赤、青、黄の原色を鮮やかに表現します。

- ［CMYK シミュレーション用プロファイル］は、印刷などの CMYK 環境での色味をシミュレーションすることができます。Digital Photo Professional では、次の 4 種類の印刷用プロファイルに対応しています。

Euro Standard v1.00	ヨーロッパの書籍印刷で標準的に使用されているプロファイルで、ヨーロッパの標準印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。
JMPA v1.10	日本の書籍印刷などで使用されているプロファイルで、雑誌広告基準カラーの印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。
U.S.Web Coated v1.00	北米の書籍印刷で標準的に使用されているプロファイルで、北米の標準印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。
JapanColor2001 type3	日本の印刷業界で標準化が進められているプロファイルで、JapanColor 規格の印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。

2 編集画面で詳細な画像編集をする

この章では、編集画面の各機能や画像の表示方法、詳細な画像編集について説明します。

編集画面で行える機能のみ説明しています。メイン画面と共通の機能については、各項目に記載されたページを参照してください。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

編集画面を表示する

編集画面では、1 枚の画像を拡大表示し、詳細な画像編集をすることができます。また、複数の編集画面（最大 36 画面まで表示）を並べて、比較しながら編集することもできます。

- 編集画面で行える機能のみ説明しています。メイン画面と共通の機能については、各項目に記載されたページを参照してください。

メイン画面上のサムネイル画像をダブルクリックする

→ 編集画面が表示されます。

→ 編集画面は、低解像な画像が表示されたあと高解像な表示に切り換わります。

- ［ファイル］メニュー ▶［編集画面で開く］を選んで表示することもできます。

編集画面

メニューバー

[Digital Photo Professional]、［ファイル］、［編集］、［表示］、［調整］、［ツール］、［ウインドウ］メニューを表示します。

画像のパスとファイル名が表示されます。

ツールパレット

RAW 画像調整タブ画面（p.2-3）

RGB 画像調整タブ画面（p.2-6）

画像表示エリア

カーソルの座標位置と RGB 値（8bit 換算）を表示します。

動作モードを表示します。（p.1-20）

画像の色空間（RAW 画像は［RAW］と表示）と作業用色空間を表示します。（p.1-9、p.1-21）

CMYK シミュレーション（p.1-21）を設定したときは、［CMYK］が表示されます。また、キーボードの〈スペース〉キーを押している間は、CMYK シミュレーションの表示を一時的に解除することができます。

ツールパレットを［ドッキング表示］（p.1-21）にして、編集画面の画面サイズを大きくしたときは、画像のサムネイルが表示されます。（ツールパレットが［フローティング表示］（p.1-21）のときは、常に画像のサムネイルが表示されます）また、サムネイルには拡大表示位置が表示され、ドラッグ操作で表示位置を移動させることができます。

- ツールパレットを表示／非表示にするときは、［表示］メニュー ▶［ツールパレット］を選びます。
- 編集画面の終了は、［ファイル］メニュー ▶［ウインドウを閉じる］を選びます。

 画像により、高解像な表示に切り換わるまでに時間がかかることがあります。

- ツールパレットを別画面で表示するか、同一画面で表示するかを設定することができます。（p.1-21）
- ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-2）を参照してください。

画像の表示方法を選ぶ

画像表示の大きさや表示方法を変更することができます。

表示の大きさを選ぶ

画像の大きさを **［画面に合わせる］**（画面の大きさに合わせて表示）、**［50%表示］**、**［100%表示］**（ピクセル等倍）、**［200%表示］** の 4 種類から選ぶことができます。

［表示］メニュー ▶ 設定する大きさを選ぶ

➜ 選んだ大きさで画像が表示されます。
- 表示を大きくしたときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

［画面に合わせる］ 表示の状態で、拡大したい個所をダブルクリックすると **［100%表示］** になります。また、**［50%表示］**、**［100%表示］**、**［200%表示］** の状態で画像上をダブルクリックすると、**［画面に合わせる］** 表示になります。

グリッドを表示する

画像の水平度や垂直度を確認するためのグリッドを表示することができます。

［表示］メニュー ▶ ［グリッド］を選ぶ

➜ 画像にグリッドが表示されます。
- 再度同じ操作を行うと、グリッドが非表示になります。

グリッドの間隔を設定することができます。（p.1-20）

編集前、編集後の画像を同時に表示する

編集前と編集後の画像を並べて表示することができます。

［表示］メニュー ▶ ［編集前後比較］を選ぶ

➜ 編集前、編集後の画像が分割して表示されます。

画像の表示方法を変更することができます。（p.1-20）

画像の表示位置を変更する

左右に表示されている画像を上下の表示にすることができます。

［表示］メニュー ▶ ［上下 / 左右切替］を選ぶ

- 再度同じ操作を行うと、左右に表示されます。

RAW 画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像に、メイン画面よりも詳細な編集を行うことができます。また、RAW 画像編集（p.2-3 ～ p.2-6）は、編集にともなう画像の劣化がほとんどありません。そのため、撮影時の画質を保持したまま、何度でも編集することができます。

1 RAW 画像を編集画面に表示する （p.2-2）

- 複数の画像を表示しているときは、編集したい画像をクリックして一番手前に表示します。

2 ツールパレットの［RAW 画像調整］タブを選ぶ

➜［RAW 画像調整］タブ画面が表示されます。

3 RAW 画像を編集する （p.2-3 ～ p.2-6）

- 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。（p.1-13）
- 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。（p.1-14）

4 編集前と編集後の画像を比較する（左記）

5 編集した画像を保存する （p.1-14）

- PowerShot Pro1 の RAW 画像は編集できません。
- 編集した画像は、保存（p.1-14）してから Digital Photo Professional を終了してください。

編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。（p.1-13）

明るさを調整する

画像の明るさを− 2.0 ～＋ 2.0（数値入力では 0.01 ステップ）の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する

表紙／目次
はじめに
メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする
編集画面で詳細な画像編集をする
セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
クイックチェック画面で画像を表示する
資料
索引

ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスを各種の方法で設定することができます。

ホワイトバランスを選ぶ （p.1-7）

ホワイトバランスを設定することができます。

色温度を設定する （p.1-7）

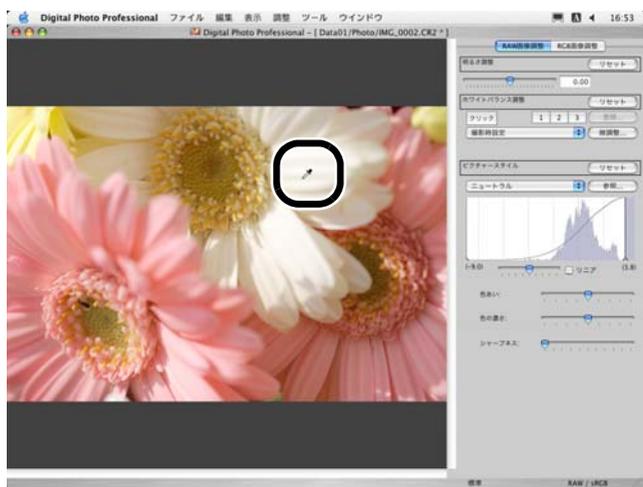
色温度を 2800 ～ 10000K（100K ステップ）の範囲で設定することができます。

クリックホワイトバランス

選んだ個所を白の基準として、画像の色を調整することができます。

1 ［クリック］ボタンを押す

→ 画像の上にカーソルを移動すると、［↖］が［🖉］に変わります。

2 白の基準とする個所をクリックする

→ 選んだ個所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の個所をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、［クリック］ボタンを押します。

- クリックした個所から 5 × 5 ピクセルの範囲の平均値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色（ニュートラルグレイ）の個所を選んでも、白色の個所を選んだときと同等の調整結果になります。

カラーホイールで調整する （p.1-8）

カラーホイールで好みの色を直接選んで調整することができます。また、色あいを 0 ～ 359（1 ステップ）、色の濃さを 0 ～ 255（1 ステップ）の範囲で設定することもできます。

調整したホワイトバランスを登録する（カスタムホワイトバランス）

調整したホワイトバランス結果をカスタムホワイトバランスとして、3 つまで登録することができます。

1 ホワイトバランスを調整する

2 ［登録］ボタンを押す

→ ［カスタムホワイトバランス登録］画面が表示されます。

3 リストから登録するボタン番号を選ぶ

4 ［OK］ボタンを押す

カスタムホワイトバランス （p.1-8）

登録したカスタムホワイトバランスを適用することができます。

表紙／目次
はじめに
1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

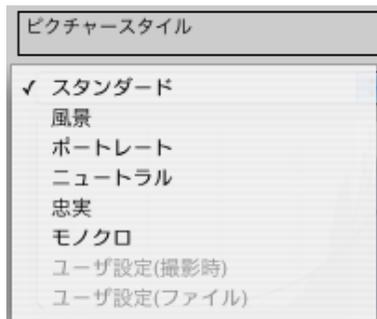
2 編集画面で詳細な画像編集をする
3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
4 クイックチェック画面で画像を表示する

5 資料
索引

ピクチャースタイルを設定する

ピクチャースタイルを選ぶ

ピクチャースタイルを設定することができます。

リストボックスからピクチャースタイルを選ぶ

スタンダード	鮮やかで、くっきりした画像になります。
ポートレート	肌がきれいで、ややくっきりした画像になります。 ［色あい］を変えると、肌色を調整することができます。(p.2-6)
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきりした画像になります。
ニュートラル	自然な色あいで、メリハリの少ない控えめな画像になります。シャープネスはかかっていません。
忠実設定	5200K 程度の環境光下で撮影した画像が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるよう色調整されます。シャープネスはかかっていません。
モノクロ	白黒画像になります。
(カメラで設定したピクチャースタイルファイル)	カメラでピクチャースタイルファイルを設定して、撮影した画像を選んだときに表示されます。 リストには、カメラで設定したピクチャースタイルファイルのキャプション名が、( ) 付きで表示されます。
[読み込んだピクチャースタイルファイル]	［参照］ボタンを押して、読み込んだピクチャースタイルファイルを適用します。 リストには、［参照］ボタンを押して読み込んだピクチャースタイルファイルのキャプション名が、[ ] 付きで表示されます。

ピクチャースタイルファイルを適用する

弊社ホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、読み込んで画像に適用することができます。

1 ［参照］ボタンを押す

➜ ［開く］画面が表示されます。

2 ピクチャースタイルファイルを選び、［開く］ボタンを押す

➜ ピクチャースタイルファイルが読み込まれます。

3 リストボックスから読み込んだピクチャースタイルファイルを選ぶ

➜ 読み込んだピクチャースタイルファイルが画像に適用されます。

ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイル機能を拡充するためのファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳しい内容については、弊社ホームページを参照してください。

シャドウ／ハイライトポイントを調整する

シャドウポイント（もっとも暗い部分）とハイライトポイント（もっとも明るい部分）を設定し、画像の階調を調整することができます。

画像を見ながら調整する

グラフの左端にカーソルを移動すると［↖］が［↔］に変わります。右にドラッグしてシャドウポイントを調整します。

グラフの右端にカーソルを移動すると［↖］が［↔］に変わります。左にドラッグしてハイライトポイントを調整します。

トーンカーブを選ぶ

トーンカーブを選ぶことができます。

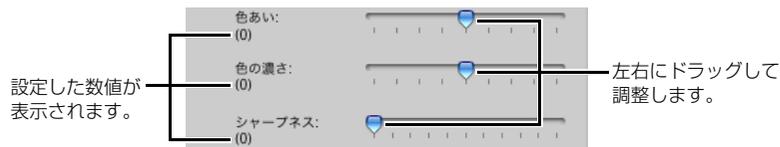
画像を見ながらトーンカーブを選ぶ

［リニア］は、Photoshop などの画像編集用ソフトウェアで、別途画像調整を行いたいときに選びます。

色あい、色の濃さ、シャープネスを調整する

色あい、色の濃さを－４～＋４（1 ステップ）の範囲、シャープネスを０～ 10（1 ステップ）の範囲で調整することができます。

また、**［ピクチャースタイル］**リストボックスで**［モノクロ］**を選んだとき（p.2-5）に表示される**［フィルター効果］**は、**［なし］**、**［黄］**、**［オレンジ］**、**［赤］**、**［緑］**の５種類から、**［調色］**は、**［なし］**、**［セピア］**、**［青］**、**［紫］**、**［緑］**の５種類から選ぶことができます。

画像を見ながら調整する

画像を編集する

Digital Photo Professional が対応している RAW 画像、JPEG 画像、TIFF 画像に、各種の編集を行うことができます。

1 画像を編集画面に表示する（p.2-2）

● 複数の画像を表示しているときは、編集したい画像をクリックして一番手前に表示します。

2 ツールパレットの［RGB 画像調整］タブを選ぶ

➜ ［RGB 画像調整］タブ画面が表示されます。

3 画像を編集する（p.2-7、p.2-8）

● 編集内容は、コピーして他の画像にペーストし、反映することもできます。（p.1-13）

● 編集した画像を、最後に保存した状態や撮影時の状態に戻すことができます。（p.1-14）

4 編集前と編集後の画像を比較する（p.2-3）

5 編集した画像を保存する（p.1-14）

編集した画像は、保存（p.1-14）してから Digital Photo Professional を終了してください。

編集内容は、画像とは別の単独ファイルとして保存することができます。（p.1-13）

トーンカーブ調整

トーンカーブは、調整前の画像（入力）と、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さをグラフ化したものです。撮影時に、カメラが自動的に調整した画像の明るさや色の濃さを調整することができます。また、画像全体の入力と出力を一括して調整したり、R（赤）・G（緑）・B（青）を個別に調整することもできます。

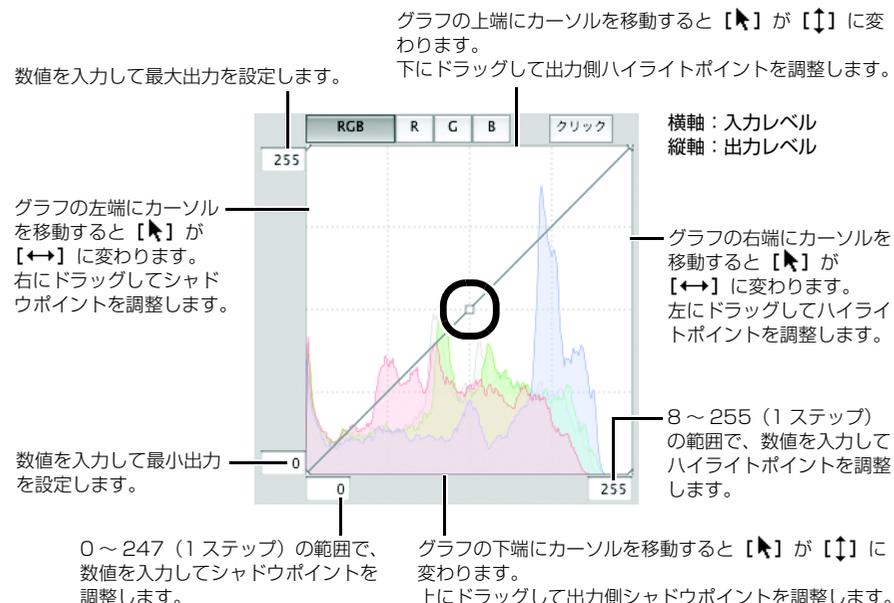
横軸は、調整前の画像（入力）の明るさと色の濃さを表し、左側がシャドウ（画像の暗い部分）、右側がハイライト（画像の明るい部分）を示しています。

縦軸は、調整後の画像（出力）の明るさと色の濃さを表し、下側がシャドウ、上側がハイライトを示しています。

トーンカーブを調整する

1 ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

2 トーンカーブを調整する

- トーンカーブをクリックして［□］を表示し、任意の位置へドラッグします。
- ［□］は8個まで設定することができます。
- ［□］をダブルクリックすると削除されます。

シャドウポイントとハイライトポイントの最小の差は8ステップです。

トーンカーブの結びかた（曲線／直線）、トーンカーブの表示（RGB R G B／輝度 R G B）は、〈control〉＋クリックして表示されるメニューや、**［環境設定］**画面の**［ツールパレット］**タブ画面（p.1-21）で変更することができます。

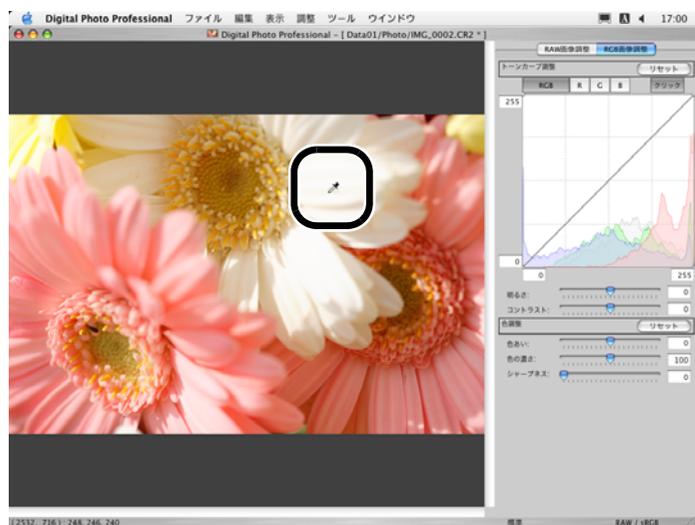
表紙／目次
はじめに
1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする
2 編集画面で詳細な画像編集をする
3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
4 クイックチェック画面で画像を表示する
5 資料
索引

クリックホワイトバランス

選んだ個所を白の基準として、画像の色を調整することができます。

1 ［クリック］ボタンを押す

→ 画像の上にカーソルを移動すると、［ ］が［ ］に変わります。

2 白の基準とする個所をクリックする

→ 選んだ個所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の個所をクリックすると、再度調整されます。
- クリックホワイトバランスを終了するときは、［クリック］ボタンを押します。

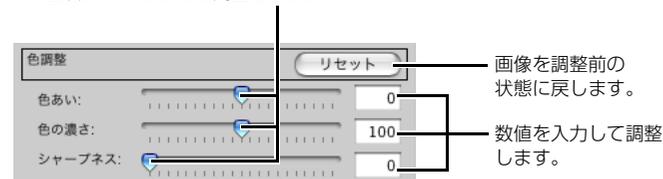
- クリックした個所から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色（ニュートラルグレイ）の個所を選んでも、白色の個所を選んだときと同等の調整結果になります。

明るさ、コントラストを調整する

明るさ、コントラストを－ 100 ～＋ 100（数値入力では 1 ステップ）の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する

色あい、色の濃さ、シャープネスを調整する

色あいを－ 30 ～＋ 30（数値入力では 1 ステップ）の範囲、色の濃さを 0 ～ 200（数値入力では 1 ステップ）の範囲、シャープネスを 0 ～ 500（数値入力では 1 ステップ）の範囲で調整することができます。

画像を見ながら調整する

表紙／目次
はじめに
メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする
編集画面で詳細な画像編集をする
セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
クイックチェック画面で画像を表示する
資料
索引

3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面では、複数の画像から 1 枚の画像を選んで、詳細な画像編集をすることができます。

● セレクト編集画面の機能は、1 章のメイン画面、2 章の編集画面の機能と同様です。詳しい操作方法については、各項目に記載されたページを参照してください。

1 メイン画面で複数の画像を選ぶ

2 ［セレクト編集画面］ボタンを押す

→ メイン画面からセレクト編集画面に切り換わります。

● サムネイル画像表示エリアでクリックした画像が、画像表示エリアに表示されます。

→ 低解像な画像が表示されたあと、高解像な表示に切り換わります。

● ［表示］メニュー ▶［セレクト編集画面で編集］を選んで表示することもできます。

セレクト
編集画面
フォルダ

セレクト編集画面

メニューバー
［Digital Photo Professional］、［ファイル］、［編集］、［表示］、［調整］、［ツール］、［ウインドウ］メニューを表示します。

画像のパスとファイル名が表示されます。

1 つ前の画像を選びます。

1 つ後の画像を選びます。

ツールバー

選んだ画像を左右に 90 度回転します。

画像を一括で保存します。（p.1-16）

ツールパレット
RAW 画像調整タブ画面（p.2-3）
RGB 画像調整タブ画面（p.2-6）

セレクト編集画面がメイン画面に切り換わります。

サムネイル画像表示エリアを表示／非表示にします。

ツールパレットを表示／非表示にします。

選んだ画像にグリッドを表示します。

画像を画面の大きさに合わせて表示します。

画像を 50%で表示します。

画像を 100%（ピクセル等倍）で表示します。

画像を 200%で表示します。

サムネイル画像表示エリア

画像表示エリア
表示を大きくしたときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

カーソルの座標位置と RGB 値（8bit 換算）を表示します。

動作モードを表示します。（p.1-20）

画像の色空間（RAW 画像は［RAW］と表示）と作業用色空間を表示します。（p.1-9、p.1-21）

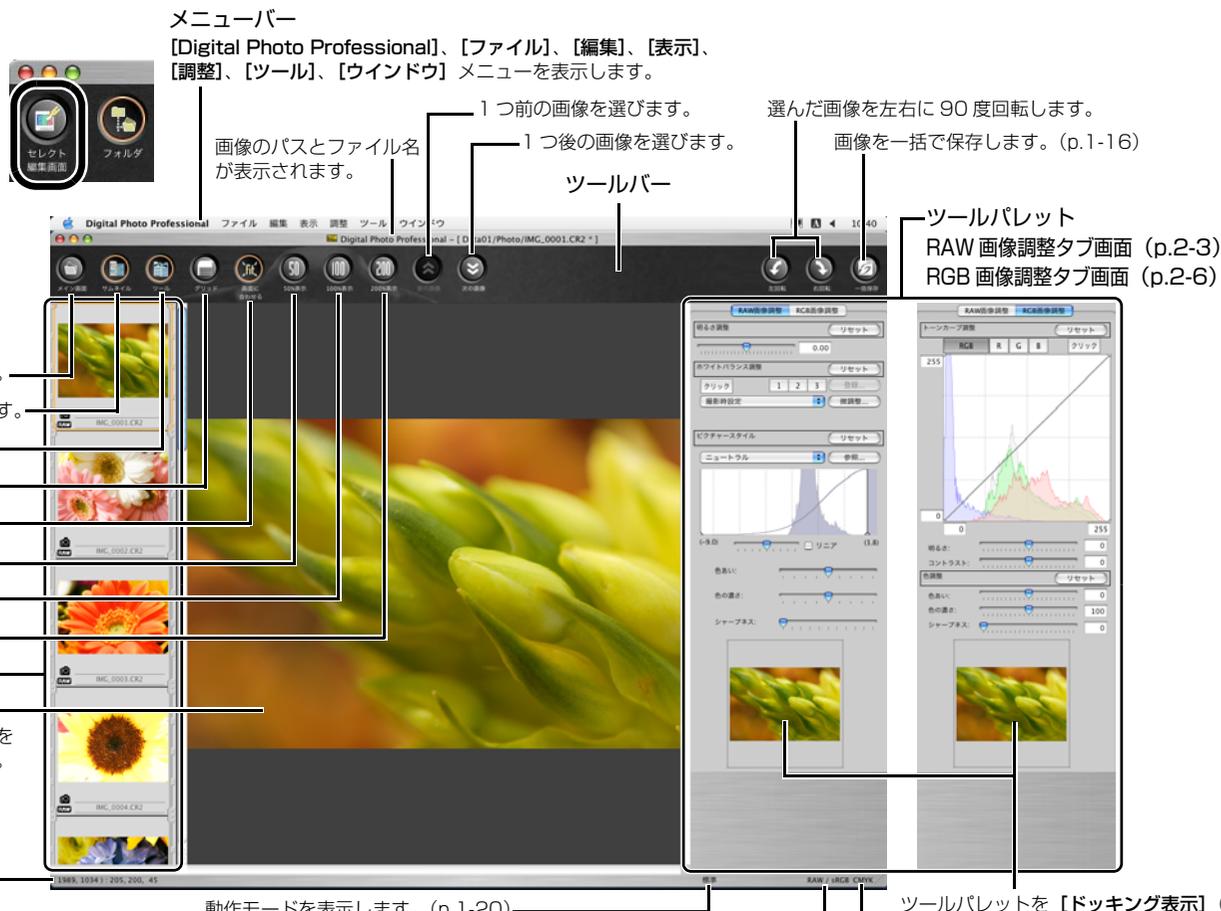
CMYK シミュレーション（p.1-21）を設定したときは、［CMYK］が表示されます。また、キーボードの〈スペース〉キーを押している間は、CMYK シミュレーションの表示を一時的に解除することができます。

ツールパレットを［ドッキング表示］（p.1-21）にして、セレクト編集画面の画面サイズを大きくしたときは、画像のサムネイルが表示されます。（ツールパレットが［フローティング表示］（p.1-21）のときは、常に画像のサムネイルが表示されます）
また、サムネイルには拡大表示位置が表示され、ドラッグ操作で表示位置を移動させることができます。

● サムネイル画像表示エリアの位置を変更するときは、［表示］メニュー ▶［サムネイル位置変更］を選びます。

● サムネイル画像表示エリアから画像を削除するときは、［ファイル］メニュー ▶［リストから削除］を選びます。

● セレクト編集画面の終了は、［メイン画面］ボタンを押します。

画像により、高解像な表示に切り換わるまでに時間がかかることがあります。

● ツールパレットを別画面で表示するか、同一画面で表示するかを設定することができます。（p.1-21）

● ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-3）を参照してください。

4 クイックチェック画面で画像を表示する

クイックチェック画面では、1 枚の画像を拡大表示して、高速に閲覧／確認を行うことができます。

1 メイン画面で複数の画像を選ぶ

2 ［ツール］メニュー ▶ ［クイックチェックツールを起動］を選ぶ

→ クイックチェック画面が表示されます。

3 画像を閲覧／確認する

4 ［OK］ボタンを押す

クイックチェック画面

設定したチェックマーク番号が表示されます。

画像を 50%で表示します。
［50%表示］にしたときは、画像上でドラッグ操作を行うと、画像の表示位置を変えることができます。

全画面表示にします。
元の画面に戻すときは、再度ボタンを押します。
全画面表示／通常画面表示の切り換えは、キーボードの〈⌘〉＋〈F11〉キーを押します。

画像のパスとファイル名が表示されます。

3 種類のチェックマークから任意の番号を選び設定します。

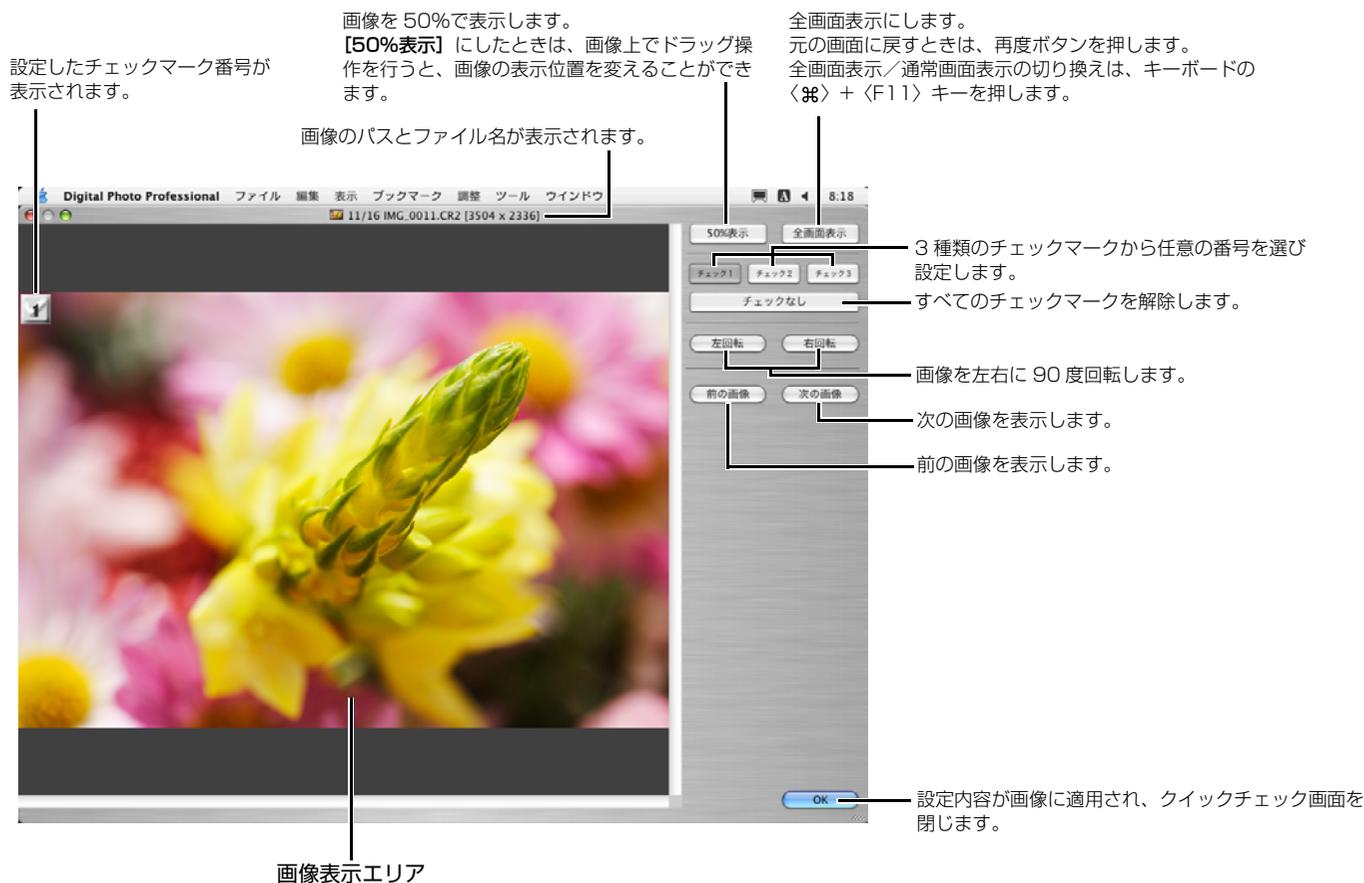
すべてのチェックマークを解除します。

画像を左右に 90 度回転します。

次の画像を表示します。

前の画像を表示します。

設定内容が画像に適用され、クイックチェック画面を閉じます。

画像表示エリア

- 各種の設定、全画面表示／通常表示の切り換えは、画面上で〈control〉＋クリックして表示されるメニューでも行うことができます。
- ショートカットキーについては、「ショートカット一覧」（p.5-2）を参照してください。

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を表示する

資料

索引

トラブルシューティングや Digital Photo Professional の削除のほか、ショートカット一覧など、Digital Photo Professional を快適に使っていただくために、この「資料」を設けました。

● 表示したい項目をクリックすると、クリックしたページが表示されます。

トラブルシューティング

「手順通りにインストールできない」、「Digital Photo Professional が動作しない」、「Digital Photo Professional で画像を表示できない」というときは、以下の項目を確認してください。

手順通りにインストールできない

● 管理者以外のアカウントでログインしていませんか？
→ 管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインしなおしてください。
ログイン方法、管理者の設定方法については、使用している Macintosh や OS X の使用説明書などを参照してください。

Digital Photo Professional が動作しない

● Digital Photo Professional の動作環境に合ったパソコンを使用していますか？
→ 動作環境を確認してください。(p.0-2)

● RAM（メモリ）が不足していませんか？
→ 動作環境を確認してください。(p.0-2)

● 解像度を［1024 × 768］未満で使用していませんか？
→ 解像度を［1024 × 768］以上に設定してください。(p.0-2)

● カラーを［約 32,000 カラー］未満で使用していませんか？
→ カラーを［約 32,000 カラー］以上に設定してください。(p.0-2)

● 複数のソフトウェアを起動していませんか？
→ Digital Photo Professional 以外のソフトウェアを終了してください。動作環境（p.0-2）に記載された RAM（メモリ）容量をパソコンに搭載していても、Digital Photo Professional と共に、他のソフトウェアを起動していると、RAM（メモリ）が不足することがあります。

● Digital Photo Professional の初期設定ファイルが壊れている？
→ 使用している Digital Photo Professional ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。すべてのソフトウェアを終了して、以下の手順で［Preferences］フォルダ内のファイルを削除して、再度 Digital Photo Professional を起動してください。
システムが保存されているハードディスクドライブ ▶［ユーザ］フォルダ ▶ ログインしているユーザーのフォルダ ▶［ライブラリ］フォルダ ▶［Preferences］フォルダの順に開き、［com.canon.Digital Photo Professional.plist］を削除します。
OS X 10.2 では、システムが保存されているハードディスクドライブをダブルクリック ▶［ホーム］ボタンをクリック ▶［ライブラリ］フォルダ ▶［Preferences］フォルダの順に開き、［com.canon.Digital Photo Professional.plist］を削除します。

Digital Photo Professional で画像を表示できない

● Digital Photo Professional が対応している画像以外の画像を表示していませんか？
→ 対応画像を確認してください。(p.0-2)

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

● インストールしたときのアカウントでログインしてください。
● Digital Photo Professional の削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。
● 削除するフォルダをゴミ箱に移動したときは、［Finder］メニュー ▶［ゴミ箱を空にする］を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、Digital Photo Professional の再インストールはできません。

1 ［Digital Photo Professional］フォルダが保存されているフォルダを表示する

● ［Canon Utilities］フォルダを開きます。

2 ［Digital Photo Professional］フォルダをゴミ箱に移動する

3 ［Finder］メニュー ▶［ゴミ箱を空にする］を選ぶ

→ ［Digital Photo Professional］フォルダが削除されます。
● ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に注意してから削除してください。

表紙／目次
はじめに
1 メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする
2 編集画面で詳細な画像編集をする
3 セレクト編集画面で詳細な画像編集をする
4 クイックチェック画面で画像を表示する
索　引

ショートカット一覧

メイン画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	RAW 画像のみ選択	option + ⌘ + A
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	チェックマーク 1 付き画像のみ選択	option + ⌘ + 1
ほかを隠す	option + ⌘ + H	チェックマーク 2 付き画像のみ選択	option + ⌘ + 2
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	チェックマーク 3 付き画像のみ選択	option + ⌘ + 3
編集画面で開く	⌘ + O	レシピをクリップボードにコピー	option+ ⌘+ C
ウインドウを開く	⌘ + N	レシピを選択画像にペースト	option+ ⌘+ V
ウインドウを閉じる	⌘ + W	セレクト編集画面で編集	⌘ +→
レシピを付加して保存	⌘ + S	サムネイル大	⌘ + 1
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	サムネイル中	⌘ + 2
画像にサムネイルを付加して保存	shift + ⌘ + T	サムネイル小	⌘ + 3
変換して保存	⌘ + D	情報付きサムネイル	⌘ + 4
一括保存	⌘ + B	左回転	⌘ + L
新規フォルダの作成	shift + ⌘ + N	右回転	⌘ + R
ページ設定	shift + ⌘ + P	チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1
プリント	⌘ + P	チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2
Easy-PhotoPrint でプリント	⌘ + E	チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3
削除	⌘ + delete	チェックマークをはずす	⌘ + F4
画像情報表示	⌘ + I	クイックチェックツールを起動	option + ⌘ + F
コピー	⌘ + C	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
ペースト	⌘ + V	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
全選択	⌘ + A	リネームツールを起動	option + ⌘ + R
全解除	shift + ⌘ + A	ウインドウをしまう	⌘ + M

編集画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘ + ,	画面に合わせる	⌘ + 4
Digital Photo Professional を隠す	⌘ + H	50% 表示	⌘ + 1
ほかを隠す	option + ⌘ + H	100% 表示	⌘ + 2
Digital Photo Professional を終了	⌘ + Q	200% 表示	⌘ + 3
ウインドウを閉じる	⌘ + W	左回転	⌘ + L
レシピを付加して保存	⌘ + S	右回転	⌘ + R
レシピを付加して別名で保存	shift + ⌘ + S	チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1
変換して保存	⌘ + D	チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2
ページ設定	shift + ⌘ + P	チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3
プリント	⌘ + P	チェックマークをはずす	⌘ + F4
画像情報表示	⌘ + I	トリミングツールを起動	option + ⌘ + T
レシピをクリップボードにコピー	option + ⌘ + C	コピースタンプツールを起動	option + ⌘ + S
レシピを選択画像にペースト	option+ ⌘+V	ウインドウをしまう	⌘ + M
ツールパレット表示／非表示	⌘ + T	CMYK シミュレーション解除（キーを押している間のみ有効）	スペース

クイックチェック画面

動作	キー	動作	キー
全画面表示／通常画面表示の切り換え	⌘ + F11	左回転	⌘ + L
全画面表示から通常画面表示への切り換え	esc	右回転	⌘ + R
50% 表示／画面サイズに合わせた表示への切り換え	⌘ + F10	先頭の画像を表示	home
チェックマーク 1 をつける	⌘ + F1	最後の画像を表示	end
チェックマーク 2 をつける	⌘ + F2	前画像を表示	⌘ +←
チェックマーク 3 をつける	⌘ + F3	次画像を表示	⌘ +→
すべてのチェックマークをはずす	⌘ + F4	—	—

表紙／目次

はじめに

メイン画面で画像の一覧表示と簡単な画像編集をする

編集画面で詳細な画像編集をする

セレクト編集画面で詳細な画像編集をする

クイックチェック画面で画像を表示する

索　引

セレクト編集画面

動作	キー	動作	キー
環境設定	⌘＋,	メイン画面に戻る	⌘＋←
Digital Photo Professional を隠す	⌘＋H	ツールパレット表示／非表示	⌘＋T
ほかを隠す	option＋⌘＋H	画面に合わせる	⌘＋4
Digital Photo Professional を終了	⌘＋Q	50% 表示	⌘＋1
ウインドウを閉じる	⌘＋W	100% 表示	⌘＋2
レシピを付加して保存	⌘＋S	200% 表示	⌘＋3
レシピを付加して別名で保存	shift＋⌘＋S	左回転	⌘＋L
変換して保存	⌘＋D	右回転	⌘＋R
一括保存	⌘＋B	チェックマーク 1 をつける	⌘＋F1
ページ設定	shift＋⌘＋P	チェックマーク 2 をつける	⌘＋F2
プリント	⌘＋P	チェックマーク 3 をつける	⌘＋F3
Easy-PhotoPrint でプリント	⌘＋E	チェックマークをはずす	⌘＋F4
リストから削除	⌘＋delete	トリミングツールを起動	option＋⌘＋T
画像情報表示	⌘＋I	コピースタンプツールを起動	option＋⌘＋S
レシピをクリップボードにコピー	option＋⌘＋C	ウインドウをしまう	⌘＋M
レシピをペースト	option＋⌘＋V	CMYK シミュレーション解除（キーを押している間のみ有効）	スペース

トリミング画面

動作	キー	動作	キー
前画像を表示	⌘＋←	全画面表示から通常画面表示への切り換え	esc
次画像を表示	⌘＋→	トリミング範囲をリセット	delete
全画面表示／通常画面表示の切り換え	⌘＋F11	トリミングを設定せずに終了	⌘＋W

コピースタンプ画面

動作	キー	動作	キー
全画面表示／通常画面表示の切り換え	⌘＋F11	修正前の状態に戻す	option＋⌘＋Z
全画面表示から通常画面表示への切り換え	esc	修正範囲の半径または、コピー先の半径を 5 画素単位で設定	option＋⌘＋↑、option＋⌘＋↓
前画像を表示	⌘＋←	修正範囲の半径または、コピー先の半径を 1 画素単位で設定	shift＋⌘＋↑、shift＋⌘＋↓
次画像を表示	⌘＋→	コピー元を指定する *（100% 表示のときのみ有効）	option＋クリック
修正内容をコピー	⌘＋C	コピー元指定後に画像の表示位置を移動（100%表示のときのみ有効）	control＋ドラッグ
修正内容をペースト（縦横が同じ画素数の画像選択時のみ有効）	⌘＋V	スタンプの種類をブラシに設定 *	1
1 つ先の状態に戻す	⌘＋Y	スタンプの種類を鉛筆に設定 *	2
最後の修正状態に戻す	option＋⌘＋Y	画像の表示位置を一時的に移動	スペース＋ドラッグ
1 つ前の状態に戻す	⌘＋Z	—	—

* コピースタンプ機能（p.1-12）使用時のみ動作します。

索　引